



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2010 推進ニュース — 介護ウェーブの “Big Wave” をおこそう! —

方針「今後の介護ウェーブの取り組みについて」を具体化し介護改善要求の声を国会に届けよう!

鹿児島、国分、奄美の「介護の日」介護ウェーブ一斉行動に75名が参加 署名は、高齢者の他に高校生、大学生など若い人たちも応えていました(鹿児島)

11月11日「いい介護の日」に呼応した取り組みとして、11月13日を統一行動日に鹿児島、国分、奄美(名瀬・南大島)で介護ウェーブ署名、宣伝行動が一斉にとりくまれ、介護現場職員を中心に75名が参加し訴えました。行動へは、手作りのプラカード、横断幕を準備し介護チラシの配布、署名、マイク宣伝を行いました。署名へは、高齢者の他に高校生、大学生など若い人たちも応えていました。だれでも安心して介護が受けられる介護保険制度の改善、介護職員が介護を続けられる基盤整備など元気に訴えました。今回の行動で744筆の署名が集まりました。



介護の魅力を広く伝える「介護1日体験」に20名が参加 介護保険制度改善の意義も学ぶ



「介護1日体験」の受け入れも同じ日に取り組みされました。介護の内容を一日体験として、利用者家族、一般の方、学生を受け入れ体験してもらい介護の仕事の大切さ、やりがい、誰でも安心して介護が受けられる介護保険制度の必要性を理解してもらうことを目的に取り組み、鹿児島、国分、奄美で、20名の利用者家族、学生が参加し介護の仕事の魅力、大切な仕事である事など体験の中で学習しました。学習会も各事業所で取り組み、介護改善運動の意義、介護改善運動が大きく前進しました。(鹿児島民医連 介護ウェーブニュース 2010年11月17日より)

11月11日「いい介護の日」全国の仲間とともに錦糸町駅で大宣伝！ 「保険あって介護なし」の実態と介護改善のための署名への協力を訴える(東京)



11月11日、全日本民医連介護・福祉責任者会議終了後、全国からの参加者は21・老福連、介護をよくする東京の会と共同で、会場近くのJR錦糸町駅南口・北口で大宣伝・署名行動を行ないました。各地からの参加者がリレートークで「保険あって介護なし」の実態と介護改善のための署名への協力を訴えました。大阪のグループホーム長、京都の訪問看護ステーション所長、千葉のケアマネジャーなどが、利用者・家族の深刻な状況や低報酬での事業所運営の困難さ、職員の処遇改善などを訴え、署名の協力をお願いしました。東京の宮脇正和さん(西都保健生協)と中村和司さん(東都協議会)が「介護の社会化」「介護職員の処遇改善」を訴えました。この行動には、「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」(21・老福連)や東京民医連の共同組織の皆さんも参加しました。参加者は150人、署名211筆、チラシの配布約2,000枚でした。

鳴りやまない「介護なんでも110番」東京民医連の6名のケアマネジャーが対応

11月11日～12日に、全労連・中央社保協・介護をよくする東京の会が行なった「介護なんでも110番」はNHKで報道されたこともあり2日間で180件の相談、4台の電話がフル回転。介護認定への不満や経済的理由での利用困難、遠距離介護の苦勞など、利用者・家族や介護職員からの深刻な相談に首都圏のケアマネジャーや労組役員が対応しました。東京民医連からは6名のケアマネジャー(城南・坂井多喜子さん、城北地域福祉サービス協会・清野公二さん、健愛会・渡邊ひとみさん、東京保健生協・西村秀勝さん、勤医会・坂村隆之さん、西都保健生協・松本信子さん)が相談員として参加し、利用者・家族からの深刻な相談に丁寧に答えました。(東京民医連介護ウェブニュースNo. 50 2010年11月17日より)

高齢社会とこれからの介護保険制度を考える「市民のつどい」を11月27日に開催予定(北海道)

いよいよ11月27日は「市民のつどい」です。これまでに、2,000カ所を超える事業所に案内を送って、参加を呼びかけるとともに、アンケートを行っています。事業所からは、「池に浮かぶ木の葉のように、揺らいできた10年との印象です」「制度が複雑になるばかりで、しわ寄せが利用者に行くことを辛く感じています」「医療行為のある方の住処がない(インシュリン注射、バルン挿入している方等)」「利用者中心のサービスになっていないと思います」といった切実な声が寄せられています。

11月15日に開催した「介護に笑顔を道連絡会」では、「それぞれの職場から参加を呼びかけるとともに、利用者家族や連携のある事業所へ、関係団体への働きかけをおおいにとりくもう」と意思統一しました。これまでに、道央圏2,000事業所と、福祉系大学・専門学校・全道179市町村の介護保険担当者へ、案内と事前アンケートを発送しました。「介護新聞」で近く「110番」結果とあわせて報道されるほか、北海道新聞への働きかけを予定しています。今回の「市民のつどい」は、札幌市が後援となり、札幌市内10区役所・区民センターに、ポスターが貼られ、チラシが置かれています。地下鉄麻生・北34条・琴似駅構内に、ポスターが掲示されています。また、社協、老福協、看護協会、デイサービス協会が協賛団体となりました。企画は、勝田登志子さん(認知症の人と家族の会福代表理事)の講演等の企画を予定しています。

「介護の日」の取り組みで、札幌では、「介護110番」や、介護の魅力を伝えるとおきの写真等を募集し、パネル展を紀伊国屋書展ロビーで行い40枚を展示しました。旭川や函館では宣伝・署名行動が取り込まれました。

(介護に笑顔を！道連絡会ニュース 2010. 11. 15. 16より)



お問い合わせは、「介護ウェブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp